

The background features a large, dark fountain pen with a silver-colored nib and a silver band engraved with the company logo and name. The pen is positioned vertically in the center. Behind the pen, a faint, light-colored city skyline is visible against a warm, orange-to-white gradient background. The main title is written in large, bold, dark blue Japanese characters.

2021年3月期 決算説明資料

株式会社 学究社
(証券コード：9769)

I. 会社概要	P. 3
II. 決算概要	P. 8
III. 今期の戦略	P.13
IV. 参考資料	P.27

I. 会社概要

2021年 3 月末現在

設立

1976年（昭和51年）10月6日

資本金

1,216百万円

本店
所在地

東京都渋谷区代々木一丁目12番 8 号

発行済
株式総数

11,212,292株

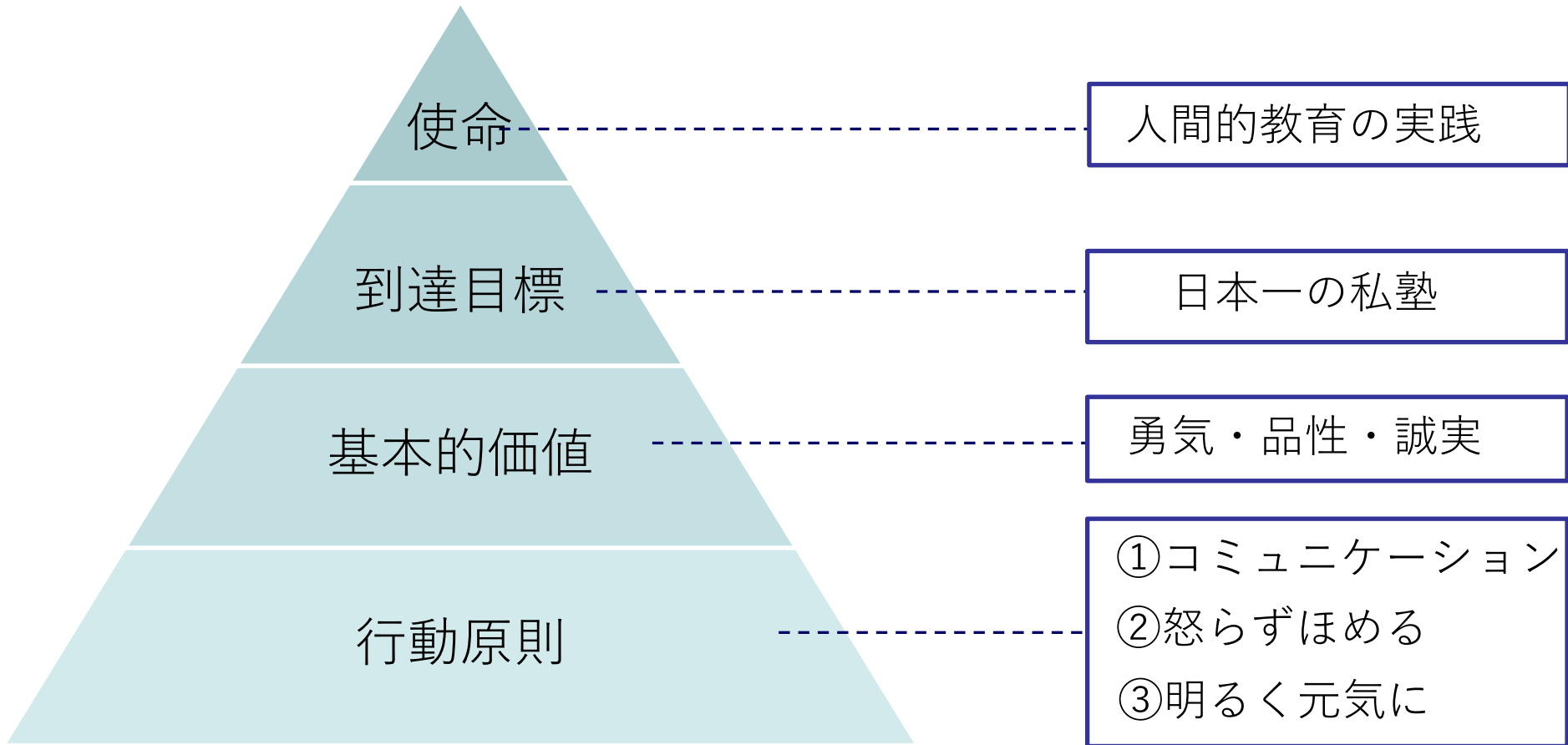
1 単元

100株

グループ
会社

子会社 8 社及び関連会社 2 社

■学究社グループ経営理念



当社ブランド一覧



幅広い年齢層に対応した、生徒・保護者様からのさまざまなニーズにこたえるブランド構築

※校舎数は2021年5月31日現在



他にはない本格的な合判模試
都立中合判・都立高合判

- ◆ 合格実績No.1のenaだからこそ実現できる正確な合格判定
- ◆ 都立中11校+東京学芸大附属中・東大附属中のうち、
報告書点も加味して合格判定を行う都内最大規模の模試
- ◆ 対象を都立共通問題校・都立自校作成校それぞれに分け、
志望高校に応じた本番さながらの模試

enaオリジナル教材
PERSPECTIVE

- ◆ 単元学習と入試対策が
同時に行える独自教材



復習ノート

学力の定着と記述力の養成

enaワーク

教科書改訂にも完全対応した
定期テスト対策教材で内申点を確保



II. 決算概要

(単位：百万円、%)

	2020年3月期	2021年3月期		前年同期比	
	金額	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	10,920	11,289	100.0	368	3.4
営業利益	1,486	1,861	16.5	375	25.3
経常利益	1,600	1,786	15.8	185	11.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	937	1,108	9.8	171	18.3

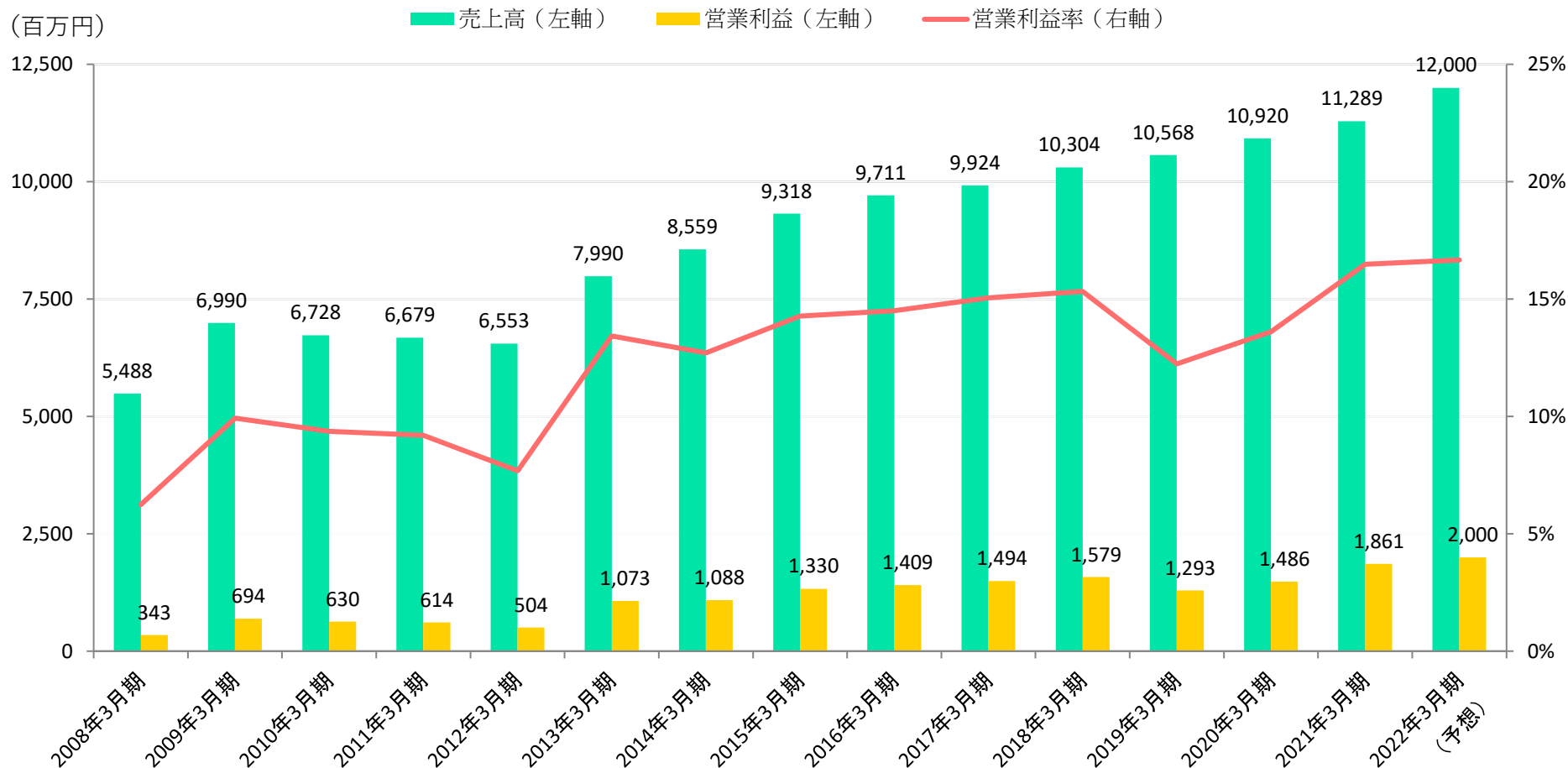
営業利益に係る前年同期との比較

- 都立中高一貫校の合格実績の躍進等により生徒数が堅調に推移
- 立地戦略に基づく東京東部及び北部の校舎数の増加
- ダブル学習システム（対面授業+単方向映像授業）の導入
- 効果的な広告宣伝活動の実施
- 人件費の抑制や家賃の減額交渉等を通じた各種経費の削減

▶ 対前年比で売上高増加

▶ 対前年比で営業費用減少

業績の推移



※ 2013年3月期より会計方針の変更を行ったため、2012年3月期については、当該会計方針の変更を反映した遡及処理後の数値となります。

売上高及び経常利益の分析

(単位：百万円、%)

			2020年3月期		2021年3月期		前年同期比	
			金額	業界平均	金額	業界平均	増減額	増減率
売上高			10,920	15,936	11,289	15,855	368	3.4
	教育事業		10,453	—	10,783	—	330	3.2
	不動産事業		83	—	98	—	14	17.2
	その他及び調整		383	—	407	—	24	6.3
経常利益			1,600	1,053	1,786	557	185	11.6
経常利益率			14.7	4.5	15.8	1.6	—	1.1

- ◆合宿などのオプション講座を含む夏期・冬期・春期の各講習売上の伸長により、教育事業売上高が増加
- ◆新規に賃貸用マンションを取得したことにより、不動産事業売上高が増加
- ◆業界平均（私塾業界上場会社各社の開示書類より当社作成）に比して、売上高は下回っているものの、

経常利益及び経常利益率においては、業界平均値を大幅に上回っている状況が継続

(経常利益率は、前年に引き続き業界No.1を達成) ※2月、3月決算企業において集計

貸借対照表 (連結)

(単位：百万円、%)

	2020年3月期末		2021年3月期末			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	1,571	18.1	2,384	24.6	813	資産 ●現金及び預金の増加+872百万円 ●建設仮勘定の増加+403百万円 ●関係会社株式の減少△150百万円
固定資産	7,087	81.9	7,316	75.4	228	
資産合計	8,658	100.0	9,700	100.0	1,042	
流動負債	3,019	34.9	2,769	28.6	△250	負債 ●短期借入金の減少△700百万円 ●1年内返済予定の長期借入金の増加+135百万円 ●未払法人税等の増加+174百万円 ●長期借入金の増加+1,152百万円
固定負債	1,656	19.1	2,777	28.6	1,120	
負債合計	4,676	54.0	5,546	57.2	870	
純資産合計	3,982	46.0	4,154	42.8	172	純資産 ●配当金の支払△719百万円 ●親会社株主に帰属する当期純利益の計上+1,108百万円 ●自己株式の取得△163百万円
負債・純資産合計	8,658	100.0	9,700	100.0	1,042	

III. 今期の戦略

(単位：百万円、%)

	2021年3月期 実績		2022年3月期 予想	
	2Q 累計	通期	通期	前年同期比
売上高	5,590	11,289	12,000	6.3
営業利益	977	1,861	2,000	7.4
経常利益	877	1,786	2,000	12.0
親会社株主に帰属する 純利益	504	1,108	1,200	8.2
1株当たり 純利益	45.60円	100.57円	109.41円	
売上高 営業利益率	17.5	16.5	16.7	

1. 「都立中高一貫校、都立難関高校」の対策塾として 不動の地位を確立

他塾では、依然として私立中高一貫校、名門私立大学付属中高対策を市場とする中、当社は都立中高受験の市場をいち早く開拓し、この市場での不動の地位を築いている。

2. 都立中高一貫校受検、都立難関校受験における高い合格実績

都立中高受検では毎年抜群の合格実績を誇るとともに都立難関校受験においても当社の強みを発揮。

3. 映像・オンライン化の積極的な推進

コロナ禍を機に従来より進めてきた映像授業やオンライン化対応等を加速。

4. 資産の有効活用

自社保有不動産の有効活用により、安定した収益を確保。

eina 史上最高合格者数を大幅更新

& 一般定員合計に対する合格占有率の過半数を達成

	合格者数	募集定員	占有率
 No.1 都立立川国際中	113名	160名	71%
 No.1 都立武蔵高附属中	112名	160名	70%
 No.1 都立三鷹中	101名	160名	63%
 No.1 都立富士高附属中	92名	160名	58%
 No.1 都立南多摩中	86名	160名	54%
 No.1 都立大泉高附属中	81名	120名	68%
 No.1 都立白鷗高附属中	73名	160名	46%
 No.1 都立小石川中	71名	160名	44%
 No.1 都立桜修館中	68名	160名	43%
 No.1 区立九段中等	66名	160名	41%
 No.1 都立両国高附属中	64名	120名	53%
合計	927名	1,680名	55%
(前年度)	823名	1,600名	51%

※1 10時間以上の指導実績のある生徒のみを合格実績にカウントしております。

※2 No.1の表記は、各大手塾ホームページの合格者数から判断しております。合格者数が同数の場合もあります。

合格実績【都立難関高校】

都立難関高校（進学指導重点校・進学指導特別推進校）

	合格者数
No.3 都立日比谷高	41名
No.3 都立西高	44名
No.1 都立国立高	61名
No.2 都立戸山高	44名
No.2 都立青山高	36名
No.1 都立立川高	70名
No.1 都立八王子東高	61名
No.2 都立新宿高	41名
No.1 都立国分寺高	49名
No.2 都立国際高	18名
No.2 都立駒場高	27名
No.2 都立小松川高	24名
No.4 都立小山台高	16名
No.3 都立町田高	15名

No.1

進学指導重点校

合 計

3 5 7 名

No.2

進学指導特別推進校

合 計

1 9 0 名

※1 10時間以上の指導実績のある生徒のみを合格実績にカウントしております。

※2 No.1、No.2などの表記は、各大手塾ホームページの合格者数から判断しております。
合格者数が同数の場合もあります。

国公立難関大学

	合格者数
東京医科歯科大	6名
防衛医科大学校	14名
国立看護大学校	17名
東京都立大	8名
埼玉県立大	33名
千葉県立保健医療大	31名
神奈川県立保健福祉大	12名

国公立大学

合計

130名

(前年度 119名)

私立最難関5大学

	合格者数
慶應義塾大	9名
上智大	7名
聖路加国際大	37名
東京慈恵会医科大	13名
日本赤十字看護大	83名

私立最難関5大学

合計

149名

(前年度 111名)

学究社 合格実績【芸術大学・美術大学】

10年連続現役合格総数No.1

東京芸術大学

	合格者数	現役合格		合格者数	現役合格
油画専攻	8名	2名	日本画専攻	1名	—
彫刻科	5名	1名	工芸科	1名	—
先端技術表現科	6名	3名	デザイン科	1名	—
建築科	1名	1名			

多摩美術大学

合格者数 現役合格
 316名  210名

武蔵野美術大学

合格者数 現役合格
 324名  253名

芸大・美大
 合計
 973名
 (現役合格)
 684名

※ 2020年度在籍者・講習会生 一般/共通テスト利用/総合型/推薦型/留学生/帰国生 合格者・補欠者累計

1. 少子化による教育関連市場の縮小

教育関連業界全体では少子化の影響で市場規模の縮小傾向が続いている。しかしながら、東京都内及び近郊エリアに限ってみれば、人口流入により学齢人口の増加傾向が継続している。

2. コロナ禍による教育費支出への影響

コロナ禍による経済活動の停滞は各世帯の収入にも大きく影響し、その影響は受験にも及んでいる。経済的理由により、近年増加傾向であった都立中高一貫校及び都立難関高校の人気のますます高まることが予想される。

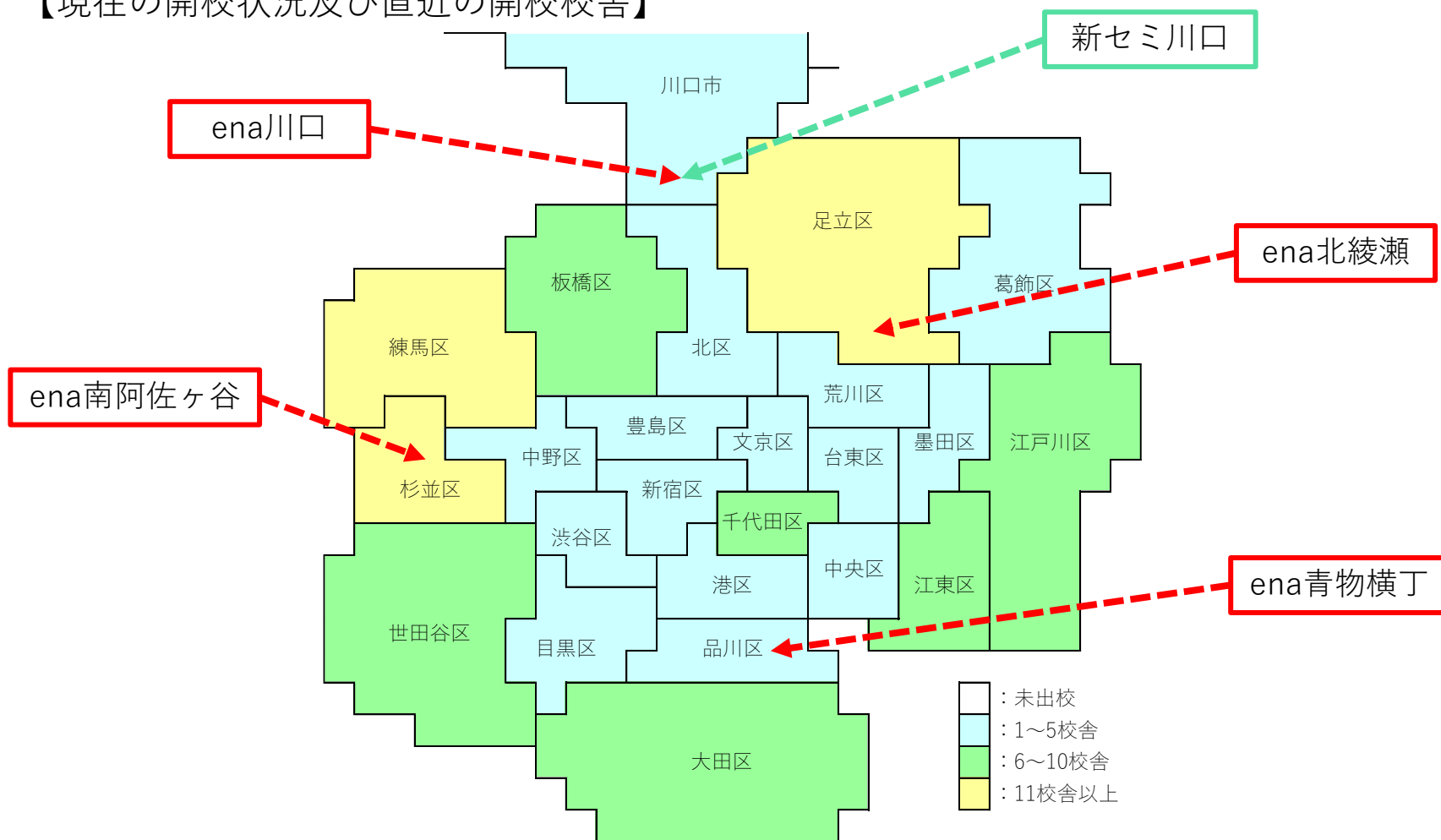


当社の強みを生かし、都立中高一貫校・都立難関高校入試への対策を強化し合格実績シェアをさらに高めることで「ena」のブランドイメージを向上させていく。

具体的施策 1 新規校舎展開

東京東部及び北部（東京23区）を重点地域と定めた出校。

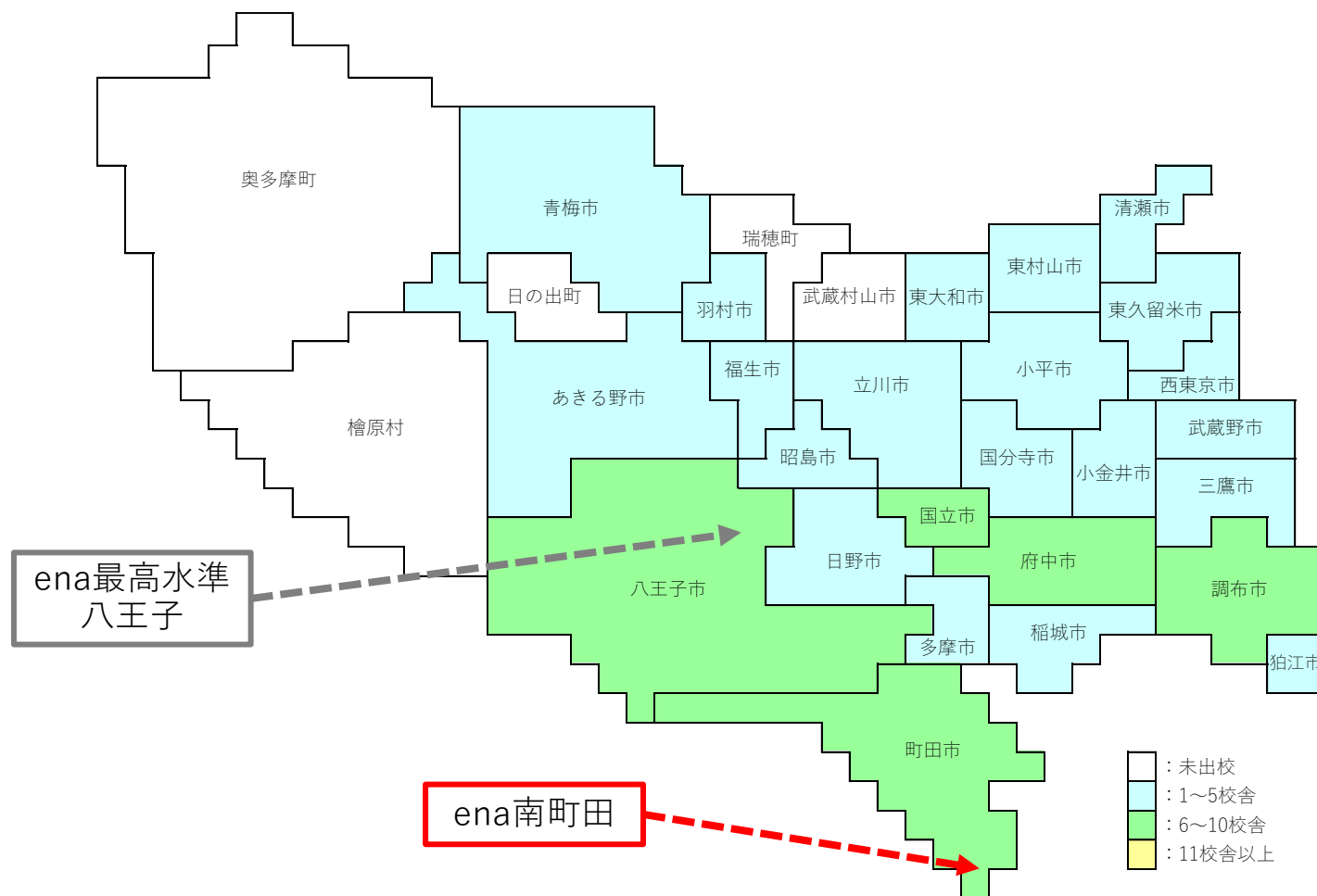
【現在の開校状況及び直近の開校校舎】



※開校数及び開校時期は、不動産市況・物件状況・経営環境によって変更される場合があります。

具体的施策 1 新規校舎展開

【（参考）東京23区外における現在の開校状況及び直近の開校校舎】



※開校数及び開校時期は、不動産市況・物件状況・経営環境によって変更される場合があります。

具体的施策 1 新規校舎展開

ドミナントエリアである東京都全域を中心に新規校舎展開を積極的に進めるとともに不採算校舎の閉校を予定。

開校計画

ブランド	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)
ena (「最高水準」含)	9校	6校	7校
個別ena	2校	—	—
ena新セミ	—	1校	—
ena新美	—	—	—
計	11校	7校	7校

※1 上記の校舎数には業態変更による開校が含まれております。

※2 開校ブランド、開校数及び開校時期は、不動産市況・物件状況・経営環境によって変更される場合があります。

2. オンライン・映像を活用した新たな形態の授業の展開

小中学部部門での「ダブル学習システム」、オンライン授業専門の「オンラインクラス」、個別指導部門でのオンライン家庭教師「家庭教師Camp」、看護医療系部門での「ena新セミオンラインコース」等、各部門でオンラインや映像を活用した新たな形態の授業を展開。



3. 広報・宣伝活動

広報誌「GAKU」による定期的な情報発信、新聞折込チラシによる宣伝展開に加え、ホームページやYouTubeなどウェブを活用したPRのほか、校舎にデジタルサイネージを設置するなど、各種媒体を幅広く活用した広報・宣伝活動を実施。



4. 自社保有不動産の有効活用

自社施設である清里・富士山合宿場(1号館・2号館)の3合宿場体制で1,000名が収容可能となっている。2020年夏も新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し例年通り実施した。(冬は緊急事態宣言を受け中止)

この他、久米川タワー、国立タワー(建設中)等、自社資産を有効活用し安定した収益源を確保する。



[富士山合宿場 1 号館]



[富士山合宿場 2 号館]



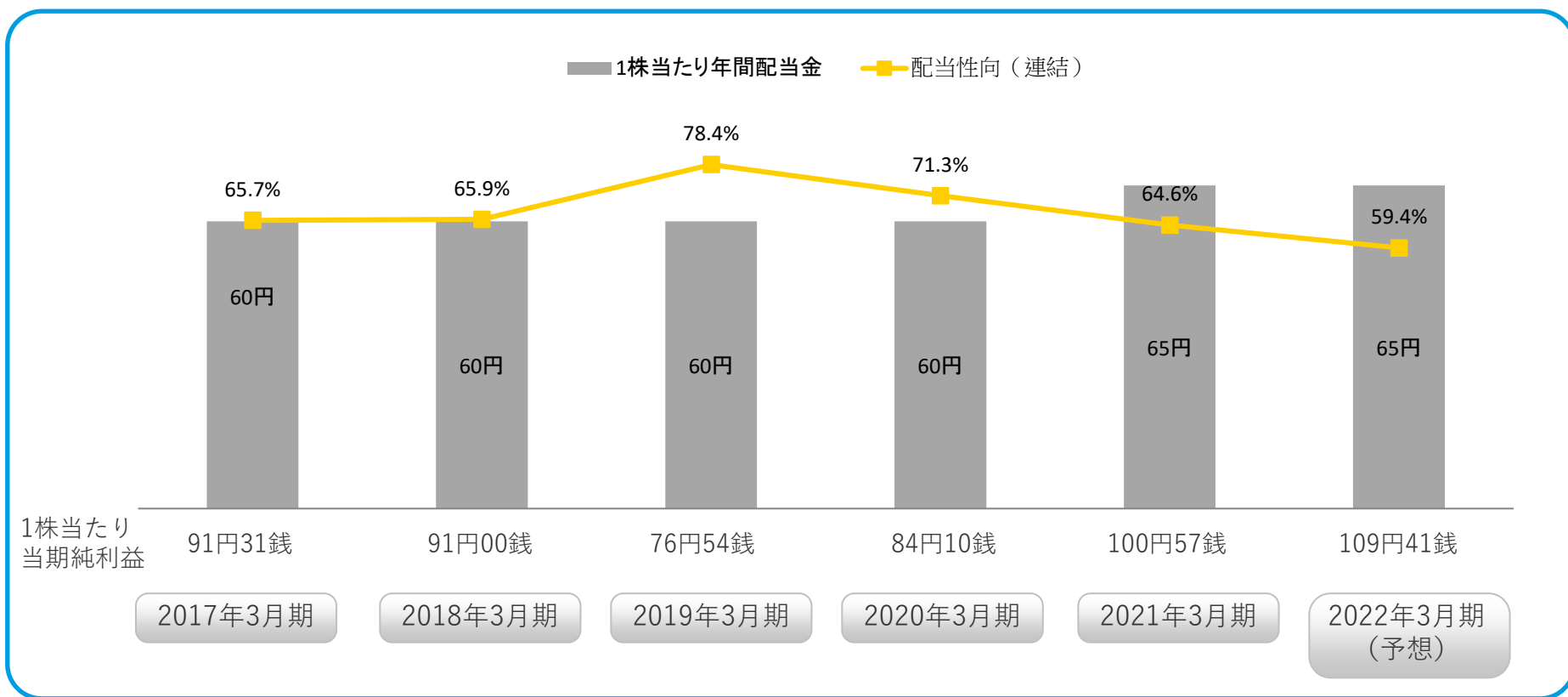
[久米川タワー]



[国立タワー (完成予想図)]

5. 校舎の統廃合

引き続き不採算校舎の閉校を予定。大規模校舎での個別校舎と集団校舎の統合により、経費削減・適正規模化を図る。



利益配分の基本方針

長期にわたる安定基盤の確立に努めるとともに、株主の皆様への業績に対応した成果の配分を行い、利益還元を強化してまいります。

IV. 参考資料

[校舎外観]



[授業風景]



[校舎内の様子]



[映像授業の活用]



清里合宿場・富士山合宿場では、夏期合宿、週末合宿、GW合宿等、短期間で飛躍的な学習効果をもたらす合宿特訓を実施しております。

富士山合宿場

雄大な富士山が目の前に広がる学習空間

2014年より新たに稼働した、約14,000㎡の広大な敷地を有する合宿専用施設が「富士山合宿場」です。
2016年より2号館が新たに稼働しました。
夏期合宿やGW合宿など、短期間で飛躍的な学習成果を残す合宿特訓を行います。

1号館



2号館



大自然の中で勉強だけに集中できる特別な空間

夏期合宿の他、年間を通して多数の合宿が行われる清里合宿場。
夏でもクーラーが不要な過ごしやすい気候の中で、集中力を高めて学習することができます。
1号館から始動したこの施設は、現在では5号館まで拡張し、より快適で安全な合宿特訓を実現しています。

清里合宿場



本資料に掲載されている株式会社学究社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から株式会社学究社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

IRお問い合わせ

管理本部 IR担当

T E L : 0 3 - 6 3 0 0 - 5 3 1 1

E - m a i l : ir@ena.co.jp